



PRESS RELEASE

<報道関係各位>

2024年7月22日

アディダス ジャパン株式会社

大切なのは、自分を信じること パリの舞台で“プレッシャー”を力に変える アディダスグローバルキャンペーン最新章スタート

～阿部 一二三、阿部 詩、野中 生萌、ノア・ライルズ等、この夏頂点を目指すアスリートが集結～



<https://shop.adidas.jp/yougotthis/>

アディダス ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：小佐妻 綾子）は、スポーツをする中で誰もが向き合う「プレッシャー」をテーマとしたグローバルブランドキャンペーン最新章を、2024年7月22日（月）よりスタートいたします。

アディダスは、「YOU GOT THIS（大丈夫、いける。）」をメッセージに、あらゆるレベルのアスリートがネガティブなプレッシャーから解放され、純粋にスポーツに向き合うことで広がる可能性をテーマとしたグローバルブランドキャンペーンを継続的に実施しています。本日より始まる最新章では、柔道の阿部 一二三選手、阿部 詩選手や、スポーツクライミングの野中 生萌選手、陸上のノア・ライルズ選手など、様々なトップアスリートたちによるプレッシャーとの向き合い方を描きながら、自分の力を信じることの大切さを次世代へと伝えていきます。

ネガティブなプレッシャーの影響は、トップ選手のみならず、学生やアマチュアレベルのアスリートにも表れています。アディダスの調査によると、日常的にスポーツをする人の5人に1人が「自分はスポーツが得意ではない」と考えており、この苦手意識がスポーツを楽しむ妨げとなっています。この傾向は、スポーツ環境に恵まれない地域ではより顕著となり、4人に1人がスポーツが苦手だと答えています^{*1}。



アディダスは、公認スポーツ運動心理学者ジョセフィン・ペリー博士の協力のもと、自信を持つことでスポーツにおけるプレッシャーを和らげることができる^{※2}という事実注目しました。アスリートが輝く舞台である大きな大会には、さまざまなプレッシャーが伴います。ペリー博士によると、過去の調査において、アスリートは最大 93 種類のプレッシャーに直面していることが分かりました^{※3}。重要な場面であればあるほど、アスリートは自己最高のパフォーマンスを発揮するためにそのすべてを克服しようとしており、そこで重要になってくるのが自信です。ペリー博士は、アマチュアからトップアスリートまで、あらゆるレベルの選手にとって、自分の力を信じ、確信と勇気を持つというテクニックは、プレッシャーを大幅に軽減するために非常に有効な方法だと結論付けています。

キャンペーン最新章スタートに合わせ、アディダスは世界の頂点を目指すアディダスアスリートが一堂に会し、それぞれがプレッシャーをポジティブな力へと変え、自信を持って競技に向き合う姿を描いた新キャンペーンフィルムを公開します。また東京・渋谷 MIYASHITA PARK の各エリアには、本キャンペーンの一環として、スポーツクライミング 野中生萌選手やカヌー 羽根田 卓也選手、サッカー 長谷川 唯選手、陸上 ノア・ライルズ選手などのアディダスアスリートがそれぞれのスポーツに生き生きと向き合う姿をフィーチャーした大型ビジュアルが、7月26日（金）～8月11日（日）まで期間限定で登場します。

そして同じく7月26日（金）より、アディダスが支援するアートプロジェクトが阿部 一二三選手、詩選手の出身地である神戸にてスタートします。阿部 一二三選手の出身校である神港学園高等学校と神戸市内の大型壁面に、ふたりを応援する大型アートが登場。「大丈夫、いける。」というメッセージと共に、再び世界の頂点を目指す両選手へ、神戸から応援の声を届けます。

※1) 2023年5月～6月にかけて、韓国、メキシコ、日本、イギリス、ドイツ、フランス、UAE、中国、アメリカの16～30歳のスポーツに基本的な興味を持つ17,038人を対象とした、アディダスがVitreous Worldに委託し実施された国際調査による。

※2) 15か国、24のスポーツにわたる3,000人以上のアスリートを対象とした科学的研究のレビューによる証拠に基づく（Lochbaum et al. 2022）。

※3) 「エリートアスリートの93種のプレッシャー（93 Specific Pressures In For Elite Athletes）」Hanton, S., Fletcher, D., & Coughlan, G. (2005) より。
「エリートスポーツ選手のストレス: 競技および組織ストレス要因の比較研究（Stress In Elite Sport Performers: A Comparative Study Of Competitive And Organizational Stressors）」スポーツ科学ジャーナル 23(10). 1129-1141

ジョセフィン・ペリー博士について：

ジョセフィン・ペリー博士は公認スポーツ心理学者として、スポーツ心理学を活用したパフォーマンス向上方法についてアスリートやパフォーマンスの指導を行っています。今までに計28種類のスポーツにおいてアスリート指導を実施、その経験と洞察を「プレッシャー下のパフォーマンス：スポーツにおける成功戦略（Performing under Pressure: Strategies for Sporting Success）」を含む5冊の著書にて発表しています。

キャンペーンフィルム概要



今回公開となる新キャンペーンフィルムでは、自分を信じることの大切さに焦点を当て、アスリートたちがプレッシャーを克服するために、どのように自信と勇気を奮い立たせているかを描き出します。誰もがプレッシャーを感じることもあり、それは輝かしい実績を持つエリート選手でも変わりません。本フィルムでは、クイーンとデヴ



イッド・ボウイの名曲「アンダー・プレッシャー」に合わせて、阿部 一二三選手と阿部 詩選手、野中生萌選手、ノア・ライルズ選手、ペレス・ジエブチルチル選手など、世界の頂点を目指す選手たちがプレッシャーから解き放たれて、時に力強く、時に軽やかに、自信を持って競技に向き合う姿が描かれます。アディダスは本フィルムを通して、世界の大舞台に立つトップアスリートたちをセレクトするとともに、自分を信じるからこそ、あらゆるレベルのアスリートにとって自分の可能性を実現するための第一歩であることを伝えていきます。

- 期間：2024年7月22日（月）より公開
- 出演：阿部 一二三（柔道）、阿部 詩（柔道）、野中生萌（スポーツライミング）、ノア・ライルズ（陸上）、ペレス・ジエブチルチル（陸上）、サーシャ・ジョヤ（陸上）、スメエ・ボヤジ（水泳）、劉清漪（ブレイキン）、キーラン・ライリー（BMX）、フェリペ・グスタヴォ（スケートボード）
- キャンペーン特設サイト：<https://shop.adidas.jp/yougotthis/>

アスリートインタビュー「プレッシャーとどう向き合っていますか？」

■ 阿部 一二三選手（柔道）



「柔道をしていてプレッシャーを初めて感じたのは、高校三年生の時でした。自分の柔道が出来ず、負けてしまったときにプレッシャーを実感したことを覚えています。その経験を経て今は、プレッシャーがあることは当たり前で、だからこそ自分の中でしっかりと受け止めることが大事だと感じています。きちんと受け止めるようにしてから、プレッシャーに対する考え方も変わりました。練習でも試合でも、最後に大事なのはやるしかないという覚悟だと思っています。プレッシャーもすべて自分で受けて止めて、あとはやるしかない。若い選手にもそういう気持ちで競技に挑んでほしいなと思います。」

■ 阿部 詩選手（柔道）



「プレッシャーは誰でも感じるものですし、良い方向にも、悪い方向にも進むものだと思います。だからこそ私は、プレッシャーをなるべくポジティブにとらえるようにしています。普段の稽古ではあえて自分自身にプレッシャーをかけ、それを一日一日乗り越えることで、どんなプレッシャーにも打ち勝てるという自信に繋がっています。そして、試合当日に意識しているのは、自信は持ちながらも、謙虚に冷静に戦うこと。落ち着いて、何が起きても絶対に勝てる、と自分に信じ込ませる。それから試合に挑むようにしています。」

アディダス 最新情報

- ・ アディダス アプリ <https://shop.adidas.jp/mobileapps/>
- ・ アディダス オンラインショップ <https://shop.adidas.jp/>
 - アディダス ランニング <https://shop.adidas.jp/running/>
 - アディダス サッカー <https://shop.adidas.jp/football/>
 - アディダス トレーニング https://shop.adidas.jp/sports_training/